

知識伝達を支援する表現とタスク設計に関する研究

情報科学研究科

知能工学専攻

助教 **渡邊 弘大** Kodai Watanabe

教員情報



キーワード

学習工学, 知識伝達, 可視化, 再構成, 概念マップ

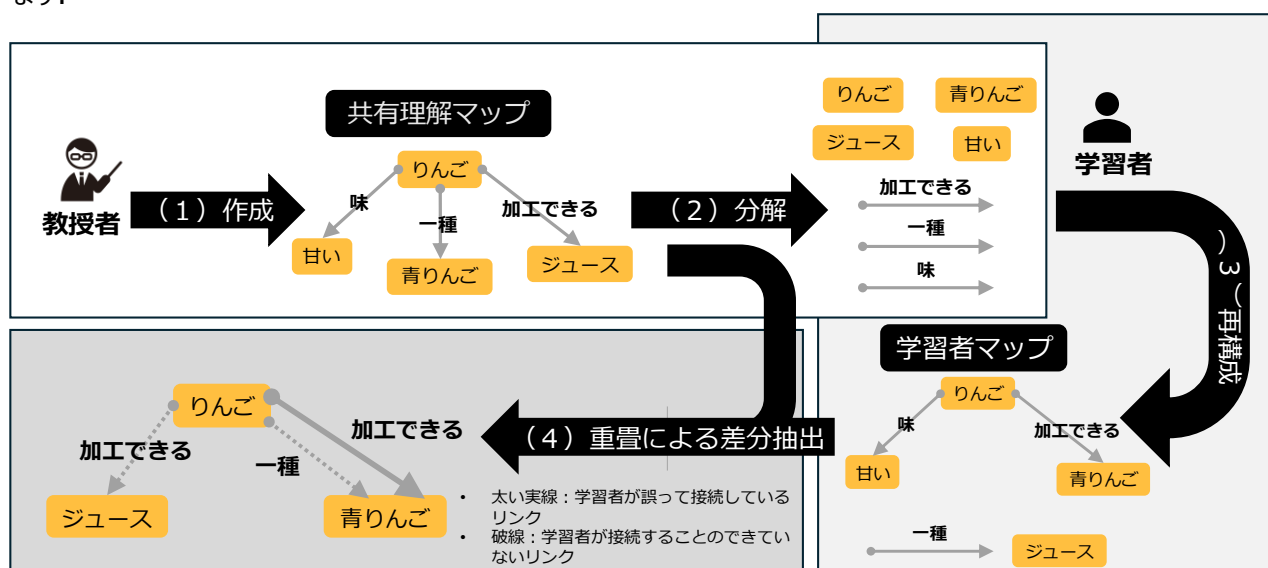
研究シーズの概要

知識伝達を支援するためには、どのような表現を用い、どのような活動（タスク）を設計すればよいかを研究しています。その一例として、概念マップによる知識表現とその再構成活動を組み合わせた「再構成型概念マップ」について検討しています。

研究シーズの詳細

◆再構成型概念マップについて◆

概念マップは、概念（ノード）と概念間の関係（リンク）によって知識を視覚化する図的表現です。再構成型概念マップでは、教授者が共有したい内容を概念マップとして表現し、それを構成要素に分解・部品化した上で学習者に提示します。学習者はそれらを用いて概念マップを再構成します。この手法では教授者と学習者が同じ部品を用いるため、両者のマップを重ね合わせる（重畳する）ことで差分を抽出でき、理解状態の可視化や認識のズレの発見を支援できます。



◆これまでの研究例◆

- 企業実務における認識共有・齟齬検出への活用
- 自分で作成した概念マップの見直し支援
- 概念マップ以外への展開（マインドマップ等の再構成）
- 再構成プロセスの分析（うまく再構成できる人とそうでない人の違いの分析）

応用例・セールスポイント

- 認識のズレの発見を支援し、対話のきっかけを提供
- チーム内での共有言語として利用可能な表現を提供
- 特定領域に依存せず、多様な知識伝達場面へ適用可能

【問い合わせ先】 広島市立大学 地域共創センター 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1 (情報科学部棟別館 1F)

TEL:082-830-1764 / FAX:082-830-1555 / E-mail:ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp